諏訪形誌を歩く

第七回　ウォーキングイベント

徳本上人の名号碑を巡る　2

四月二日（日）晴天に恵まれた中、諏訪形誌活用委員会主催による「第七回　諏訪形誌を歩くウォーキングイベント」が実施されました。今回は二十一名の皆さんにご参加いただき、「徳本上人の名号碑を巡る2」として、上田原の観音寺にある名号碑を巡りました。

途中で雨宮刑部の墓地にも訪れました。例年になく早い花の季節を迎えた今年、いろいろな花を見ながら皆さんと歴史を学びふれあうことのできる、持ちの良いウォーキングイベントになりましたがとうございました。

朝九時前、諏訪形公民館前で出発の会を行いました。公民館のサークラも満開で移動し、車にて分乗して県営野球場の駐車場まで移動し、まずは上田原の観音寺に向かいました。

観音寺ではスイセンが花盛り。諏訪形北のカンカン石とよく似た形の名号碑です。形沢伴康諏訪形誌活用委員の会顧問の名調子で、仏教の宗派の違いなどいろいろなお話を聞かせていただきました。

観音寺から雨宮刑部の墓を経て、常福寺に向かいます。この道沿いも桜が満開です！

雨宮刑部の墓では、窪田善雄諏訪形誌活用委員会委員から上田原合戦前後のいこの地域の様子や武田信玄と村上義清の戦いについての説明があり、その後、畑中の気持ちのよいの道を常福寺に向かいました。

常福寺から県営球場の駐車場に戻り、今回のイベントは解散となりました。

常福寺は今から千二百年程前に開かれたと伝えられる古刹で、上田原合戦時には武田方の陣地となり、多くの戦死者を出しました。境内には上田原合戦の戦死者の遺骨を埋葬したと伝えられる大きな石塔や、江戸時代に建てられた徳本上人の名号碑があります。

ご参加いただいた皆さんの感想

・桜満開、他の花々も満開、お天気も良く風なく、歩くには最適の日に「諏訪形誌を歩く」第七回に参加しましたが、観音寺見学は初めてでした。名号碑には歴史何回も来ていましたが、雨宮刑部のお墓にも感動致しました。帰宅してから資料を読み直したいと思います。ありがとうございました。

・春らしいうらうらかな日差しの中、とても気持ちの良い半日でした。徳本上人だけでなく、上田原合戦ゆかりの地も案内していただきまして、楽しい時間でした。北沢伴康さんや窪田善雄さんのわかりやすいお話しもありがとうございました。

・上田市内であり、あるとうございまいる徳本上人名号碑のうち五基を巡ることができる上田原古戦場で、雨宮刑部のお墓を初めてお参りしました。日常とは違う歴史を感じる時間でした。

・満開の桜の花や色とりどりの花の下、「諏訪形誌を歩く」に参加したこと、その時代の武将のお墓参りしたこと、エピソードなどいろいろお話を聞かせていただき、勉強になりました。とんでもない勉強会でした。次回も楽しみです。

第八回イベントは諏訪形自治会主催の「交流親睦会」の回覧をご覧ください。

実施する予定です。詳しくは四月十六日付の企画さんの皆さんのご参加をお待ちしています。